

盆栽の種類

さまざまな種類の木が盆栽という生きた彫刻になる可能性を秘めていますが、それらは主に松柏（常緑針葉樹）と雑木（落葉樹）の 2 つの区分に分けられます。さらに、この二つの区分は木自体が自然に持つ特徴や盆栽としての栽培方針などによって細分化されています。例えば木自体の特徴としては花が咲くどうか（花もの）、実がなるかどうか（実もの）など、そして栽培方針としては枝を伸ばす方向などが区分の対象となります。

松柏盆栽では松や柏槇（びゃくしん）などの針葉樹が使われます。松柏盆栽はどの季節においても一つのイメージを表現することができます。これらの木々は深緑の葉と木の生命力がみなぎる幹を備えており、一般にも盆栽を象徴するイメージとして定着しています。

一方、雑木盆栽では紅葉や藤、花梨などの落葉樹が使われます。盆栽家は春に優雅な花を咲かせる藤や秋に葉の色を変える紅葉などを使い、移りゆく自然を捉えるのです。